

企業等による面接指導

(1) ねらい

- ①見ず知らずの大人に、「自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる」を意識した自己表現、面接を実施することで、自身の自己表現や面接の現状を知る。
- ②自身の自己表現や面接を振り返り、よりよい改善策について考えることができる。

(2) 実施日時

- 1 回目【7月実施】：50分×4クラス…通常形式の面接
- 2 回目【12月実施】：50分×4クラス…自己表現入試に対応した面接

(3) 実施形式

【1 回目】

- ①各ブースで、4～5名の生徒の面接を実施

動画準備・入室⇒面接（6～7分）⇒講評・評価（3～4分）⇒退室・動画終了

- ②面接の様子は動画に撮る。動画スイッチのオン/オフは、生徒自身が行う

【2 回目】

- ①各ブースで、3～4名の生徒の面接（自己表現活動の形式）を実施

動画準備・入室（1分）⇒自己表現（5分以内）⇒質疑（3分）⇒講評（2分）⇒退室・動画終了

- ②面接の様子は動画に撮る。動画スイッチのオン/オフは、生徒自身が行う

(4) 実施上の留意点

【1 回目】通常形式の面接

| 教員 | 生徒 | 面接者 |
|--|---|---|
| ①配置担当になっている先生は、廊下で生徒の待機の様子を監督する。 ②総合の授業の時間は、自己表現練習や面接ガイドの記入を行わせる。 | ①chromebook を充電し、企業面接の際に必ず持参する。 ②面接時間以外は、教室で、面接の練習や面接ガイドへの記入を行う。 | ・面接6～7分、講評・評価3～4分（トータル10分）を繰り返す。 ＊面接中は、生徒が録画をしています。 ＊録画を切った後で、講評・評価をする。 |

【2 回目】自己表現入試に対応した面接

| 教員 | 生徒 | 面接者 |
|--|--|---|
| ①配置担当になっている先生は、廊下で生徒の待機の様子を監督する。 ②総合の授業の時間は、自己表現練習や面接ガイドの記入を行う。 | ①chromebook を充電し、企業面接の際に必ず持参する。 ②面接時間以外は、教室で、自己表現の練習や面接ガイドへの記入を行う。 ③自己表現入試の持参物の留意点を踏まえ、表彰状や自己表現に活用する道具を持参する。 | ①自己表現後の質疑は、自己表現の内容に関する質疑を行う。 ②5分以内で早く発表が終わっても、質疑終了の8分間までは、質疑を継続する。 ③面接終了後、2分程度、評価シートを記入 ＊面接中は、生徒が録画をしています。 |

(5) 当日の流れ

【1回目】通常形式の面接

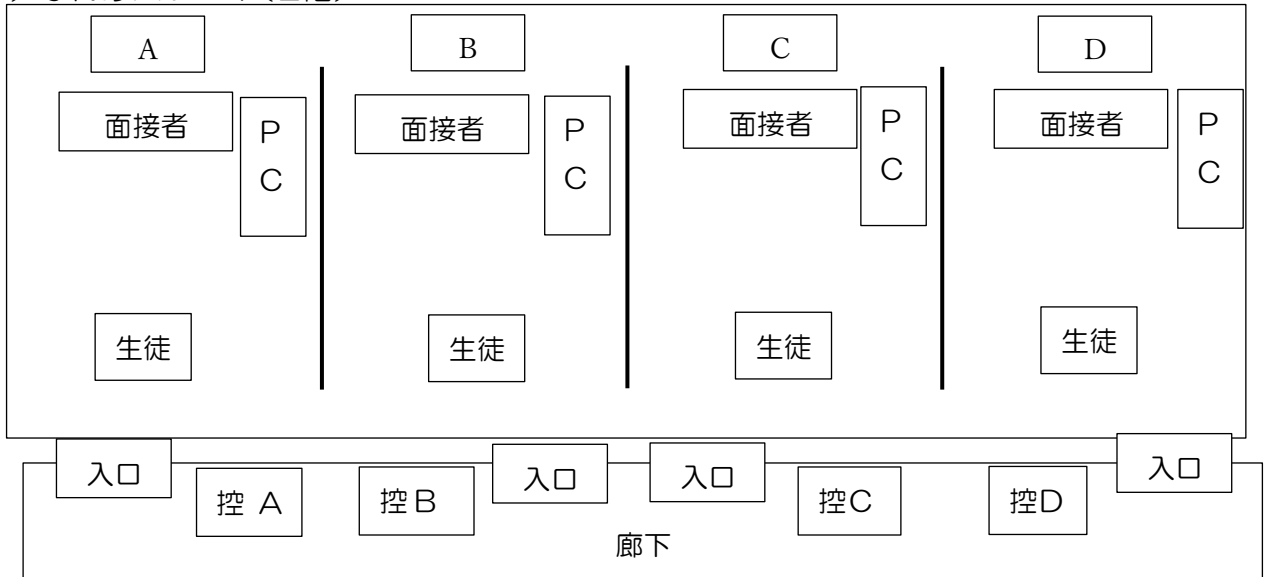
| 時程 | 生徒の動き | 面接者の動き |
|---------------|---|--|
| 朝の HR | ①面接シートを配布してもらい、名前を記入する。 ②面接での注意事項を聞く。 | |
| 授業開始前 | ①評価シートと chromebook を準備する。 ②1・2番目の人は、授業開始3分前には、面接会場外の椅子に着席をする。 | ①午前・午後の部の最初の集まりの際に、注意事項を担当者から説明を受ける。 ②自分の担当する生徒の名簿と質問表を受け取り、話す内容のイメージを持つ。 |
| 面接開始前 全員共通 | ①入室し、評価シートを面接官に渡す。chromebook を所定の位置に置き、録画ボタンを押して退出し、廊下で待つ。 ②待機している人は、静かに面接ガイドを読む。 | ①生徒から評価シートを受け取り、chromebook を置かせる。 ②生徒が録画ボタンを押しているかどうかを確認する。(押ししていない場合は、生徒に押しさせてください) |
| 面接中 | ①入室する。 面接官の指示に従って「受験番号(出席番号)」と「名前」を伝え、許可をもらってから、着席する。 ②面接を実施する。(6～7分) ③退室する。 | ①入室後は、「受験番号(出席番号)」「名前」を言わせ、着席させてください。 ②面接は6～7分です。 ③退室後、生徒が録画を停止しに戻りませぬ。忘れている場合は、必ず生徒に止めさせてください。 |
| 面接終了後 | ①面接終了後、すぐに録画を停止する。 ②講評を聞く。(3～4分) ③お礼を言って教室へ戻る。 ④教室へ戻ったら、動画を見て振り返りシートを記入したり、面接ガイドの空いているところを記入したりする。 | ①講評する。 <u>できていない所は「できていない」と厳しく言ってもらって構いません。今回は、改善点を見つけるのが一番のねらいなので、ポジティブな面を伝えながらも、改善部分はしっかり伝える辛口目の指導をお願いします。</u> *数字の評価は、率直なもので、気づき・エール欄は、箇条書きで構いません。よろしくをお願いします。 ②評価シートをまとめる。(時間におさまるように調整してください) ③評価シートを書き終えたら、次の順番の生徒を呼んで、chromebook の録画の準備をさせる。 |

【2回目】自己表現入試に対応した面接

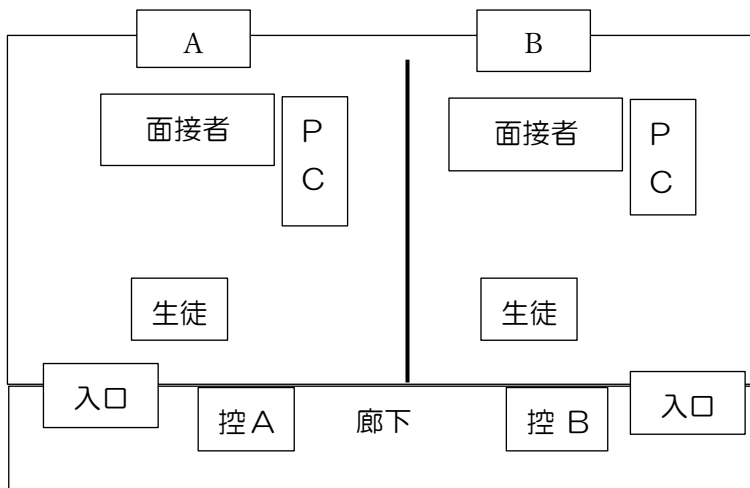
| 時程 | 生徒の動き | 面接者の動き |
|---------------|--|--|
| 朝のHR | ①面接シートを配布してもらい、名前を記入する。 ②面接での注意事項を聞く。 | |
| 授業開始前 | ①chromebookと自己表現カードを準備する。 ②1番目・2番目の人は、授業開始3分前には、面接会場外の椅子に着席をする。 | ①午前・午後の部の最初の集まりの際に、注意事項を担当者から説明を受ける。 ②自分の担当する生徒の自己表現カードを受け取り、話す内容のイメージを持つ（休んでいた生徒の分はありません） |
| 面接開始前 全員共通 | ①入室し、chromebookを所定の位置に置き、録画ボタンを押して入室準備をする。 ②待機している人は、静かに面接ガイドや自己表現カードを読む。 | ①生徒にchromebookを置かせる。 ②生徒が録画ボタンを押しているかどうかを確認する。（押していない場合は、生徒に押させてください） |
| 面接中 | ①入室（1分） 面接官のアナウンスをもとに「受験番号（出席番号）」と「名前」を伝え、許可をもらってから、着席する。 ②自己表現（5分以内） ・「周りに危害を与えない」「ネット環境を使わないchromebookの使用」の範囲で、必要なものを持参して使用してもよい。 ③質疑への解答（3分） 計8分間 ・よくわからない場合は、聞き返すようにする。 ④講評を聞く（2分以内） | ①入室後は、「受験番号（出席番号）」「名前」を言わせ、着席させてください。 ②自己表現は5分以内ですが、終わり次第質疑に入ってください。 ③自己表現が早く終わっても、合計8分間になるまでは、質疑を継続してください。 ④講評は、 <u>できていない所は「できていない」と厳しく言ってもらって構いません。今回は、改善点を見つけるのが一番のねらいなので、ポジティブな面を伝えながらも、改善部分はしっかり伝える辛口目の指導をお願いします。</u> *数字の評価は、率直なものでかまいません。よろしくお願ひします *コメントの部分は気づきや、メモでも構いません |
| 面接終了後 | ①chromebookの録画ボタンを押して、撮影を止める。 ②お礼を言って教室へ戻る。 ③教室へ戻ったら、動画の振り返りや面接ガイドを記入する。 | ①評価シートをまとめる（2分程度） ②評価シートを書き終えたら、次の順番の生徒を呼んで、chromebookの録画の準備をさせる。 |

面接会場図

(1) ふれあいルーム (2階)



(2) 少人数2・3 (3階)



少人数2・3の不足分の仕切りは、ふれあいルームのホワイトボードを使います